

市川市子ども会育成会だより

# ふれあい

2023  
**109**号  
令和5年 11月



6年ぶりに行われた八幡祭！！

5基の子ども神輿と山車。大勢の子どもに大人。文字通り大祭となりました。八幡祭の他、各地区で祭礼が行われています。コロナを吹き飛ばすような、地域を一つにする祭りは「無くてはならない行事」です。

現在の登録数

単子数 59  
子ども 1,847人  
大人 1,800人

- |                      |   |                  |   |
|----------------------|---|------------------|---|
| ・タウンミーティング……………      | 2 | ・ユースリーダー講習会…………… | 7 |
| ・安全共済会受付 委嘱状交付式…………… | 2 | ・親子でモルック体験……………  | 7 |
| ・ハゼ釣り大会……………         | 3 | ・クイズコーナー……………    | 8 |
| ・安全講習会……………          | 3 |                  |   |
| ・地区活動報告……………         | 4 |                  |   |

「あいちゃむネット」  
で検索してね

市子育連ホームページ <http://ichikawa-koren.but.jp>



# タウンミーティング

6月29日(木) 18時半より市役所本庁舎において、田中市長と市川市子ども会育成会連絡協議会(市子育連)とのタウンミーティングが行われました。参加者は市長及び市職員、市子育連役員と理事。

市長が市の施策を画像を見ながら分かりやすく説明され、その後、意見交換を行いました。

子ども会からの意見と市からの回答は次のとおりです。



## 子ども会

**回 答** 市所有のバス利用再開を検討いただきたい。理由として、バス確保によりスケジュールをたてやすくする為。子ども会もバス代無料で利用できますが、バスを使いたい要望が多い為、目的を教えてください。管財課とご相談いただければと思います。

## 子ども会

**回 答** 保有しているバスの種類、大型バスの利用は可能か、中型とマイクロバスの最大利用人数は？

**回 答** 保有しているバスは、中型1台とマイクロバス2台。大型バスの利用も相談に沿えるようにしたいが、市の基準に照らして判断します。利用人数は、中型バスが補助席利用で最大40人、マイクロバスは同じく28

## 子ども会

**回 答** 大声で遊べる公園の整備。理由として大声を出して遊べる公園施設が少ない。

## 子ども会

**回 答** 柏井キャンプ場の設備更新について。トイレ、キャンプサイトの整備をお願いしたい。

**回 答** キャンプ場は周辺を森林に囲まれた大自然の中にある為、水道や排水などについては整備されていません。これらの影響もあり、トイレは水洗化ができていません。公園にあるようなトイレを設置しようとすると、試算では多額な費用がかかることが判明。今あるトイレについては引き続き清潔に努めていきます。

その他、夏季・冬季の施設利用支援や自治会との連携、空いている土地の利用等々の意見交換がなされました。

終始にこやかな市長と、子ども会の質問に対して直ぐに答弁していただいた部長・職員  
の皆さん、貴重な一時をありがとうございました。



# 安全共済会受付



5月18日に全日警ホール、23日に南行徳市民談話室にて行われました。

今年度より共済会費が230円から330円に値上がりしましたが、手続きはスムーズに行われました。

その後、本部が「ネットによる申請が可能か否か」单子への聞き取りが行われました。

ネットで申請が可能と答えた单子が多く、又今後はむずかしいとする单子もありましたので、各々を考慮して今後、作業が進められることと思います。

# 委嘱状交付式

6月9日(金) 19時から、全日警ホールにて行われました。

地区連絡員をはじめ、総務部、広報部、指導部、事業部総勢38名が委嘱され、一年間の活動を託されました。

前年度より3名の減となり、市子育連では新しい人材を求めています。

昨年2名が部員に加わり、多いに活躍していただいております。新しい風も吹いています。

どうぞ来年度の運営にご協力の程、お願いいたします。



# ハゼ釣り大会



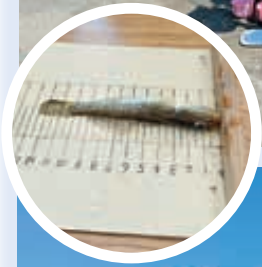
8月5日土曜日に江戸川放水路にて、子ども108名、大人73名、合計181名で行われました。熱中症警戒アラートが出たため、早めの終了となりましたが、ハゼ以外にも黒鯛が釣れるなど夏休み中の楽しい時間を過ごせました。

## 子どもの部

順位	釣果	子ども会名	氏名
優勝	8匹	若宮1丁目町会児童部	佐藤 るな
2位	7匹	柏井第2支部	新井 魁人
2位	7匹	白幡	丸山進次郎
3位	6匹	菅野西	村松 秀太
大物	12.5cm	原木	野々下 円
外道	黒鯛	中国分	斉藤 拓海
外道	黒鯛	柏井第2支部	新井 魁人

## 大人の部

順位	釣果	子ども会名	氏名
優勝	8匹	大和田	秋山 弥広
大物	12cm	大和田	須賀 奈美



安

全

講

習

会



今年度は夏休みの7月25日、親子で楽しみながら学べる、身につく防災体験施設「本所防災館」に大人14名、子ども8名で行きました。まず防災シアターで災害が起きた時どうするかの映画を観ました。その後ツアー方式で、地震、暴風雨、水害、煙体験をしました。地震体験では、東日本大震災と同じ位の震度7を！予め四つん這いになり覚悟はしていたものの、いざ揺れだすと何も出来ず動けず、大人も子どももびっくり仰天!!ただただ驚くばかりでした。そしてレインコートに長靴を履き暴風雨に立ち向かったり、水圧で車のドアが開けられない、ハンカチで口を覆い煙の中を避難するなど、体験しました。地球温暖化・線状降水帯・関東大震災から百年。いつ何が起こるか分からない。備えあれば憂いなしですね。



指導部 浜野 智恵



**1区**  
夏休み  
ラジオ体操そう

北国分堀之内子ども会

2年 まき はやと

今年は、小づか山公園で、8月21日から27日まで7日間やりました。

さいしよ、ぼくはしつかりおきたのですが、兄と弟がねぼうをして、けつきよく自分だけがおばあちゃんと行くことになりました。

さいしよの2日間はきんちょうしましたが、3日目くらいからなれてきました。さいごの方は、行くのが楽しくなりました。その理ゆうは、かいきんしよをもらえるかのうせいが高かったからです。ウキウキしながら、体そうしました。かいきんしよ



うは花火セットでした。とーつてもうれしかったです。

夏休みさいごに、花火をするのがたのしみです。

**3区**  
稲刈り体験学習

第3地区 川田 仁美

9月に入り、台風が千葉県に大雨を降らせた翌日、稲刈りとぶどう狩りを予定していました。が、稲刈りをする予定だった田んぼが水びたしに。急ぎよ、稲刈りは取りやめになり、ぶどう狩りのみとなりました。

ぶどう園では採り方の説明の後、ぶどう棚へ。

子どもも保護者も少しでも大きくて美味しそうなぶどうをさがしていました。「今年のぶどうは甘みが強い」とのお話も伺う事が出来ました。

その後、昼食会場の「東庄 県民の森」へ。広い芝生の上でお弁当を広げ、とんぼの群れを追いかけたり木の下のブランコに乗ったりと楽しいひとときを過ごしてから帰路につきました。来年は天候に悩まされず、田植え、稲刈りが出来る事を祈るばかりです。



**4区**  
第1回お楽しみ  
スポーツ大会開催

第4地区 及川 博子

9月18日(祝) 国分小学校体育館・グラウンドにてお楽しみみスポーツ大会を開催しました。

内容は、各々の講師を招いてスポーツチャンバラ(以下スポーツチャン)とモルツクの体験会。

スポーツチャンは「基礎的な打ち方」「講師との対戦」「小学生同士の対戦」という構成でした。

講師の方からは、さらに技を学び、トーナメント戦を行えば盛り上がるでしょうとお話でした。

モルツクは、ほぼ全員がはじめての体験でしたが、講師の方々には楽しく面白くルールを教えてもらえて、子どもも大人も簡単に試合が出来ました。



声を出して喜んだり悔しがったりもつと練習したい!と夢中になっていた子も。

今回は、例年と違う新しい内容でしたが、大人も一緒に楽しむ姿を子どもたちに見せる事が出来て、とても良い大会になりました。



5  
第地 夏祭り

新田1丁目くるみ子ども会

育成会長 中島 大輔

8月6日(日) 新田胡録神社の境内をお借りして、くるみ子ども会夏祭りを開催しました。

このお祭りのために、輪投げコーナーの準備、POP作り等、事前の準備から子どもたちも参加しています。

当日は、お祭り開始直後に雨が降ってきてしまいました。ほどなく上がりきれいな虹も見えました。

フランクフルト、やきとり、焼きそばと生ビール、かき氷、ラムネ、ドリンクとすべて売り切れとなりました。途中、かき氷の氷の買い出しも「行ってくる！」と子どもメンバーが急いで行ってきたくれた場面も。

子ども手作りの輪投げコーナー、スーパースクール、金魚すくいもとても大盛況でした。また子ども会員による舞台も開催しました。

学校の運動会で踊った「つばめダンス」「花笠音頭」「いやさか秋田」を披露し、最後は「ジャンボリミッキー」で来てくれ

た子どもたちもゲストで参加してくれたり、たくさんのお客さんに拍手をいただき大成功の舞台でした。



6  
第地 令和5年八幡祭の子どもたち

第6地区長 稲葉 健二

令和5年八幡祭は、9月30日(土)に子ども神輿と山車の渡御、10月1日(日)に宮神輿の渡御が催行されました。本来3年に一度の八幡祭はコロナ禍で令和2年は開催できず6年振り令和2年は開催されました。子ども神輿・山車の渡御には、八幡・南八幡地区の小学校3校、幼稚園

2園を中心に地域の単位子ども会も参加した総勢550人の申込がありました。地域の子ども会や自治会が所有する子ども神輿5基、山車2台が渡御する姿は圧巻でした。6年振りのお祭り、生まれて初めてお神輿や山車にふれる子どもたちは、元気いっぱい大きな掛け声を出しながら町内をまわりました。お祭りを通じて地域の大人と子どもが一つになる大切な伝統行事です。



8  
第地 若宮両神社 例大祭

若宮3丁目子ども会

5年 坂巻 結仁

8月26日(土)、27日(日)

の2日間、4年に一度の第六天社・八幡神社例大祭が開催されました。

若宮1丁目、若宮2丁目、若宮3丁目、若宮3丁目上町町会の4町会が集まり、第六天社で入魂式を行い、八幡神社にお参りをした後、各町会で山車を引いたり、お神輿を担いで町内を巡行しました。子ども達は「わっしょい！」と精一杯大きな掛け声を出して、暑い中頑張りま

した。

1日目の16時からは、宵宮祭りが第六天社でありました。太鼓演奏や色々な踊りの披露などがあり、最後のビンゴゲームはとても盛り上がりました。

2日目は、各町会に分かれて、巡行やお楽しみ会を行いました。3丁目子ども会では、スイカ割りや輪投げ、スーパースクールなどがありました。スイカ割りでは、スイカの中が潰れて全然割れなかったので、子ども達は「自分が割る！」という思

いでみんな頑張ってスイカを叩いていました。

2日間、充実した時間を子ども達も大人も過ごすことができました。次の4年後の大祭も楽しみにしています。



9区  
第地 たのしかった  
夏祭り

高石神子ども会

6年 皆川 友樹

友達と沢山会えて色々話ができ、たのしかったです。

しゃてきの的に少しあたってうれしかったです。しゃてきの参加賞の竹とんぼで、みんなと遊びました。

やぐらに上がって、こども会のしようかいをしました。

ジャンケン大会で2れん勝しました。

高石神子ども会

1年 きよさわ さくらこ

しゃてきやわなげ、スパーボールすくいをやりました。ちようちんがつくころにはよるに



なっていて、すこしくらくなつて、おみせがキラキラしてぐえました。

いちばんうれしかったのはチーバくんにあえたことです。お

おきなこえで「チーバくん」といったら、てをふつてくれました。チーバくんと、おともだちとしゃしんもとりました。

やぐらのまわりでおどつたり、じゃんけんたいかもしました。

やぐらにのぼつてマイクでこどもかいのしようかいをしたり、「またらいねんもあいましよう」とおわりのことばもいいました。

ゆかたとはつびをきて、おみせばんはたいへんだつたけど、いろいろなおともだちにもあえてうれしい一日でした。



らいねんはじゃんけんたいかいでゆうしようしたいです。



11区  
第地 原木山お化け大会

11地区連絡員 藤戸 貴弘

11地区子ども会育成会主催の原木山お化け大会が8月14日18時から行われました。地区内各子ども会協力の下、地元出身の高校生お手伝い、参加者合わせて約100名が集まりました。

受付後に、チョイ怖い読み聞かせをして、辺りが薄暗くなる頃、低学年から順番にお募道へ。ガサガサ音でびっくりする子ども達。道中真夏にサンタの帽子が登場し怖さヒートアップ!!? お手伝い高校生も脅かしモードに突入:。スマホで、お皿の割れる音や悲鳴を出して、今風なお化け大会になりました。子ども達も一周の予定が、おかわり肝試し。しかも長いコースへ。

低学年で

泣く子は居ましたが、

大盛況。

開催が危

ぶまれた台風のコース

も、参加者皆の悲鳴で、

どっかにいっちゃいま

した。

虫さされ

はありましたが参加者皆事故もなく、原木山様のお陰で無事終

わりました。



ヨーヨー・スパーボール・ポップコーン売りのお店当番をしました。

6月の親睦会でお店屋さんを行った事もあり、皆声出しもバツチリ。チケットを受取り、小さい子どものお客さんにも優しく教えてあげられ、頼りがいがありました!卒団生もヨーヨー作りのお手伝い。子ども会としての初参加は貴重な経験となりました。

又翌日は子ども会で広尾防災公園広場を貸し切りにして水鉄砲大会!吊るした半紙や、ペトポトルの的あてゲームも。撃ち落とすとお菓子が当たる番号が書いてありました!周りを気にせず撃ちまくり、皆びっしょりになって楽しい夏の思い出になりました!



13区  
第地 夏祭り&水鉄砲大会

広尾子ども会

副会長 土谷 みゆき

広尾健康祭りで、子ども会は



広報部が  
取材しました！

# 4年ぶりのリーダートレーニングキャンプ

## ユースリーダー講習会

今年度も、6月よりユースリーダー講習会が開催されています。

8月1日、2日の日程で、トレーニングキャンプが市川市少年自然の家で実施されました。宿泊を伴うキャンプは、令和元年度に実施された以降コロナによる中止が続き、4年ぶりの実施となりました。

今回は市内の中高生が39名参加して、青少年リーダーに必要な野外活動スキルを身につけるために真剣に取り組んでいます。



野外炊事では、自分たちで薪割り、火起こしをして、昼食にカートンドッグ、夕食には豚井を作りました。

材料の計量に苦戦する場面もありましたが、自分たちで作った出来立てのご飯を食べると、暑さも苦労も忘れるくらいの笑顔があふれていました。

また、仁平先生を講師としたレクリエーションでは、はじめは恥ずかしがっていた受講生たちが、先生を囲んでみんなで歌を歌い、みんなが楽しんでいた姿が印象的でした。

今年度のユースリーダー講習会が終わる頃には、一段とリーダーシップ力が養われていくのを楽しみにしていきます。



## 親子でモルツク体験会

第13地区

地区長 柴野 敏行

皆さん『モルツク』って聞いた事ありますか？芸能人がテレビでやっているのを見た事ある。聞いた事あるけどよく知らない。という人がほとんどだと思えます。

モルツクはフィンランド発祥のスポーツで、木の棒を投げて倒れたピンの数を加算していく、先に50点ピッタリになるまで競うゲームです。

この競技に私がどハマりし、市内の子ども達に普及すべく活動を始め、最初に地区で開催しました。芸人の友人を講師に迎え、6月の梅雨時でしたが晴天に恵まれ、総勢35人ほどで楽しく遊べました。最後のころは大人が夢中になっていたのが印象的でした。他地区からも見学&体験で参加された方も多く、みなさん楽



しかったと言ってもらえました。大人も子どももお年寄りも年齢・性別関係無く楽しく遊べますので、是非単子の行事でやってみてください。要請があればお手伝いに行きます。



子ども会会員  
&  
育成会会員 限定

# クイズコーナー

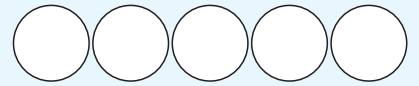
108号に続き109号もクイズコーナーを設けました。多くの会員の皆様に「ふれあい」を読んで頂くことが目的です。皆様のご応募お待ちしております！

**【問題】**

109号の記事の中で文字が反転しているところが5ヶ所あります。その文字を並び替えて言葉を作って下さい！

(ヒント) 秋になると……

**【答え】**



**【応募方法】**

**①郵送で応募**

→応募用紙にご記入のうえ、はがきに**あて先①**と**応募用紙②**を貼付け、生涯学習部青少年育成課まで送付してください。

**②Eメールで応募**

→Eメールアドレスから送信

Eメールアドレス：fureai\_kuizu@yahoo.co.jp

件名に「ふれあい109号のクイズ応募」

本文に「①子ども会名、②お名前、③会員区分、④クイズの答え、⑤市子育連への一言」をご入力ください。

**③QRコードで応募**

(ご使用のアプリケーション・機種によって、読み込めない場合もあります)



**【応募締切】**

**12月12日(火)** 青少年育成課市子育連担当必着

※応募正解者の中から抽選で5名様に景品をお送りいたします。

①

〒272-0023

市川市南八幡2-20-2

市川市役所第2庁舎 市川市教育委員会  
生涯学習部 青少年育成課

市川市子ども会育成会連絡協議会 担当窓口

②

**ふれあい109号 クイズ応募用紙**

子ども会名	子ども会			
氏名				
会員区分 (○印)	子ども会員 ・ 育成会員			
クイズの答え				
市子育連へ 一言				

**お願い**

まもなく12月。子ども会では、歳末助け合い募金が始まります。寄せられた浄財は市川市へ贈呈され、そして社協へ。  
年を越し、社会福祉協議会助成金として、子ども会が募金した以上の額を子ども会へ配分されます。  
そして各地区、会員数に応じ分配され、地区活動に当てられます。  
募金の額ではなく、一人でも多くの子ども会員に参加していただきたく、募金お願いのご案内をいたします。



**ふれあい110号  
記事の募集**

来年3月に  
小学校、中学校  
を卒業される皆さん!!  
新入学への抱負や  
今までの思い出を  
作文にしてみませんか  
(300字程度)  
詳細は後日  
お知らせします。



**編集後記**

8月19日、小学校5・6年生が議員となり、市長や執行部に質問する「子ども議会」が市議会議場で行われたと、新聞で見ました。  
通学路の安全確認や「思い切りボールで遊べる公園を」など子ども目線の質問もあったようです。  
タウンミーティングにおいて子ども会が市長へ出した質問と重なり、「今後も努力していきたい」との答弁。  
質問した児童と共にどの様に変わるか注視したいと思います。

市川市子ども会育成会だより

「ふれあい」一〇九号

発行 市川市子ども会育成会

連絡協議会

住所 市川市中国分三二二一四

発行人 亀山 達次

編集人 増田 貞幸

川上 みつ子

大林 和彦

川田 仁美

及川 和弘

鋒崎 雪絵

伊藤 寛子